



## 本がつかないだ交流 金田一先生ご講演

湖北中学校は、全校で読書活動に盛んに取り組んでいます。令和4年度には、県立図書館主催の「贈りたい本大賞」コンクールで学校賞を受賞しました。その縁で、6月21日（水）に同図書館長の金田一先生が湖北中学校を訪れ、講演会を行いました。

「さばを読む」や「話を盛る」などのことわざのように、普段何かを伝える際に端折ったり大げさに言ったりすることがあります。しかし金田一先生の言葉には、それがまったくありません。

先生は、事実を正しく、また自分の思いに正直に話されます。図書館長をされていても「僕は読書感想文を書くから本が嫌いになりました。」と生徒に堂々と話します。生徒は初め、あっけにとられていましたが、質問一つ一つに正直に回答していく金田一先生の話しぶりに次第にのめり込んでいきました。

最後に、生徒代表が講演の感想とお礼を話しました。日頃から読書に親しんでいることがとても良く伝わってきました。以下紹介します。



今日は僕たちのために来て下さってありがとうございます。先生がお見えになるということで金田一先生の本を少しばかり拝見させていただきました。本を読みながら、今日お話を聞くのをとても楽しみにしていました。今日のお話を聞いて、言語学者ではあるけれども、国語の先生とは違った思考を持っているんだなと感じました。自分が昔の時は物語を読むときは、現実とは違うなんて言う考えを持った事はなかったのですけれども、言われてみれば確かにそうだなと言うふうに思いました。感想文のときの話もそうだったんですけど、思考の転換、良いひねくれが大切なのかなと感じました。金田一先生のような視点を持つ人から意見をもらえる事はなかなかないと思うので、とても面白かったし参考になりました。今日は本当にありがとうございました。

## ハザードマップワークショップ 専門家に学ぶ危機管理

6月12日（月）、勝山中学校で2年生を対象にした「ハザードマップワークショップ」が行われました。富士山科学研究所の吉本充宏研究員が講師を務め、同研究所の研究員やスタッフが学びをサポートしました。



ハザードマップを読み取る活動

富士山が噴火した場合、想定される火口は複数あり、火口によって溶岩流の流れ方は異なります。「自分の家はどのくらい安全なのか」「溶岩流が家の方に流れてくるとしたら、避難するまでにどのくらい時間の余裕があるのか」といったことを、生徒たちはハザードマップから読み取っていきました。何枚ものハザードマップをめくり、溶岩流の流れ方の違いを比べながら、安全に避難できる時間を記録しました。学区である精進地区・本栖地区・富士ヶ嶺地区についても分担して調べました。その後、グループごとに予想される被害や、災害発生時に課題となることについて意見を出し合い、それぞれ発表しました。



グループで話し合ったことを発表

勝山中学校では、5月に3つの小学校、3つの保育所と合同で引き渡し訓練を行うなど、防災教育に力を入れています。保護者や町と連携した実践的な訓練を行い、訓練で明らかになった課題を見直すことで、災害への備えを一步一步進めています。

## 一人一人の思いが形に ギコギコ トントン

今年度も、野鳥の森公園で木工教室を実施しています。3年生は金槌の使い方、4年生はノコギリの使い方をメインに学習します。講師の先生は、希代修先生、渡辺正利先生、古屋庄一先生、倉澤成彦先生です。また、野鳥の森公園の現園長さんや前園長さんにもお手伝いをいただいております。教育センター職員2名も含め最大8名でサポートし、子どもたち一人一人が木材で作りたいものを形にしています。



いものを形にしています。

学校で創作活動をするとなると、用具や材料の準備も必要でなかなか大変ですが、野鳥の森公園では、全て揃えて子どもたちを迎えてくれます。講師の先生方に、より技術的にご指導・ご支援いただくことで、活動の終わりには力作や傑作が勢ぞろいです。また、引率の先生方も含めてたくさんの大人がサポートできる

るので、より安全に活動を行うことができます。

4年生の木工教室の初めに、センター長の藤巻先生が「のこぎりを使ったことがある人？」と子どもたちに問いかけると、手が拳がったり拳がらなかったり。しかし、教室の終わりに同じ質問をすると、子どもたちは自信いっぱい「はい！」と手を挙げていました。自然の材料に触れ、道具を使い、一人一人の思いを形にできる木工教室は、子どもたちが生き生きと活動できる貴重な時間となっています。



## センターでは、夏休み中も相談を受け付けています

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。生活リズムを崩さないよう、規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）を心がけ、夏休みにしかできないことに挑戦して、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

町教育センター ☎ 0555-83-3022

